

恵風会だより

第 6 号

2008

(平成20年)

8. 1

社会福祉法人 恵風会 〒371-0017 前橋市日吉町 2 丁目20番地14 TEL(027)231-3430 FAX(027)231-3420

人の一生は個人個人の生への意志とそれを支え合う社会によって構成されています。今日、高齢化が進む中で人と人との結びつきが生きる上で重要な意味を持っていると思います。老人福祉事業に従事する私共は人間同士の絆を大事にしながらお年寄りの生きがいを追求して行くことが事業の使命であると認識し努力をつくして行くのであります。

○母と娘の愛の絆

私の友人Iさんの母親（九十三歳）は認知症も軽度で元気なお年寄りです。娘さん（六十

巻 頭 言



人と人との絆を大切に

理事長 田 辺

誠

スを利用しておりましたが、出来れば母娘が同じ屋根の下で暮らせるよう前橋老人ホーム（養護施設）になるべく早期に入所への手

長の講演の中で北海道河東郡音更町で二階建アパート型の町営住宅をつくり、一階各室には独居のお年寄りが暮らし、二階には福祉専門学校に在学する若者が入り、一人の若者が一人のお年寄りを担当し交流と助け合いを行っている。

報告があり、群馬県は比較的に独り暮らしのお年寄りが少なく、家族の絆が存在していることを感じました。私共恵風会の一〇〇年の年表に昭和二十年の空襲による施設全焼後、戦後復興に向け苦難の第一歩を踏み出していた昭和二十三年五月一〇日夫婦寮三室落成入寮するⅡという記事が掲載されています。これは当時の田辺熊蔵院長の発想で、夫婦で入

六歳、脳性小児マヒによる体幹機能損傷の障害を持つ）と今まで二人で暮らし

ていましたが、ここの二年自宅での生活も限界に來ていることから、娘さんは四月に恵風園（特養施設）に入所いたしました。ところが娘さんの世話は苦勞が多かったけれども、一面生きがいを感じていたお母さんの方が一人の暮らしでは生き生きとした気持ち

続きがとれるよう市当局にお願いした結果、七月一日に入所が出来、毎日顔を合せての生活を始めております。

このような事例は多くないかも知れませんが、家族の愛の結びつきが失われなような対応が求められていると思うのであります。

○若者との絆

過日上毛新聞社の高橋社

○皆の努力で新しい絆を

とが出来ている、との話を聞いて町政の知恵と努力に感銘を覚えたのであります。

四月の県社会福祉施設経営者協議会（経営協）の総会の際、県の行政説明の中に、独居高齢者が全国平均一五・一％に比べ、群馬県は一・七％である、との

建てたものであつて、高齢者のほほえましい結びつきを認める処遇であつたことを記憶しております。

私共は在宅でも施設でも高齢者を孤独にしないように、皆で交わり、支え合つて、その中から高齢者が生きがいを強く感じることが出来るように心掛けたいと心を新たにしております。

床暖房改修工事完了

平成十八年度に続き、平成十九年度も大規模修繕工事としての補助金の公募が群馬県からありました。平成十八年度は風呂、食堂、厨房の改修を行いました。平成十九年の冬に既存の床暖房（温水巡回式）を起動したところ各所で水漏れが発生し使用不可となりました。そこに平成十九年度補助金の公募があり、早速応募し内示を受け、福島建築設計事務所に設計をお願いし、指名競争入札の結果、佐田建設が落札し二月中旬より着工しました。補助金事業のため年度内完了が条件のため非常に工期が短く、また居室の工事のため利用者さんに一時仮居室に移動してもらうという困難な工事となりました。関係各位の協力を得て、特に利用者の皆さんには一時的でもご不便をお掛けしましたが無事に年度内に完了することができました。関係各位にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。今度の床暖房は電気式のため水漏れの心配もなく利用者の皆さんには快適に過ごしてい

ただけるものと思います。また、今回の改修で床をビーター性からクッション性のあるフローリングに変更したため利用者の転倒時の衝撃緩和にもなると思います。

【工事内容】
前橋老人ホーム 居室41室（2F、3F）
静養室（2F）
恵風園 居室16室（1F）
【仕様】 夜間電力使用蓄熱式床暖房（1F）
一般電力使用電気式床暖房（2F、3F）
【事業費】 65,551,500円
【財源】 群馬県補助金 31,241,000円
一般財源 34,310,500円



平成20年度予算

収入	予 算 額
科 目	予 算 額
介護保険収入	344,776,000
措置費収入	140,570,000
事業収入	9,663,000
寄付金収入	50,000
借入金利息補助金収入	1,749,000
経理区分間繰入金収入	27,762,600
その他の収入	1,354,000
合 計	525,924,600

支出	予 算 額
科 目	予 算 額
人件費支出	348,309,000
事務費支出	40,442,000
事業費支出	96,570,000
固定資産取得支出	300,000
借入金元金償還金支出	8,480,000
経理区分間繰入金支出	27,762,600
その他の支出	3,198,000
次期繰越金	863,000
合 計	525,924,600

平成20年度事業計画

恵風会

一、経営目標

- ・心のかような行き届いたサービスを目指します
- ・前橋市の中心にあつてどんなたでも利用できる施設を目指します
- ・地域の皆さんに開かれた愛される法人を目指します
- ・長い歴史のある伝統を生かし時代にあつた新しい経営を目指します
- ・生きがいのある高齢社会づくりの一翼を担います

二、今年度の重点目標

- ① 社会福祉法人をめぐる環境変化に対応する改革を進める
 - ・ 保険給付の改訂、介護予防、養護の保険適用
- ② 介護サービスの質的向上へ更なる努力をはかる

- ・ 二年度に亘る改修工事を契機に利用者処遇の改善方策の検討実施
- ③ 職員の仕事への意欲を高めるため資質向上をはかるとともに中間指導層の拡充を実行する
 - ・ 研修制度の充実、人事考課制度の導入
- ④ 複合型中規模法人の利点を生かし、経営上の安定度を高め地域への貢献に努める
 - ・ 法人本部設置の具体化、地域との交流の推進

三、苦情処理、処遇改善対策

- ① 苦情解決第三者委員会（年一回以上開催）
- ② 処遇向上委員会（年二回開催）
- ③ 入所判定委員会（随時開催）

前橋老人ホーム

事業目標

明るく健康的で生きがいのある生活を送っていただくために、個々のニーズに合ったサービスの提供を行い、QOLの向上に努める。

事業内容

- 一、リスクマネジメントの実践

事故報告・ヒヤリハットについて、毎月ケース会議にて事故の分析を行い、原因を究明し防止策を講じる。また、分析した結果を職員に周知徹底し、防止策の効果の検証を行う。

二、職員の質の向上

知識と技術の向上に向け、必要に応じた研修に出席し、定期的に研修報告を行い、他職員にも反映させる。

三、利用者の満足度の向上

ケアプラン・サービス計画書の充実を図り、個々のニーズに合った援助目標・援助計画を立てサービスを提供していく。また、利用者のニーズを引き出したレ

クリエーション活動を行い、個別サービスの内容の充実を図る。

四、身体拘束ゼロに向けての取り組み

「身体拘束ゼロ」に向け、利用者の状態を正確にアセスメントし、身体拘束を必要としない状況・環境を作る。問題行動がある場合も、その原因を探り身体拘束を

平成20年度 前橋老人ホーム年間スケジュール

週月	運 営	行事・レク	行事食	研 修	毎 月
4	利用者健康診断 苦情解決第三者委員会	お花見（幸の池） お花見（芝桜）	花見だんご	伝達研修会	クラブ活動 ・音楽 ・カラオケ ・おたのしみ ・レク ・生け花 ・書道
5	利用者健康診断 利用者レントゲン（車椅子）	藤見物 バラ園見物（病弱者）	柏餅と健康茶	事故防止研修	
6		あじさい見物 誕生会	祝膳	伝達研修会	
7		七夕見物（病弱者）	うなぎ	施設内研修 事故防止研修	会議等 ・定例会議 ・ケース会議 ・リーダー会議 ・プロジェクト会議 ・給食会議
8	職員定期健康診断 防災総合訓練	納涼祭 新盆供養（墓参り）	おはぎ	伝達研修会 事例検討（ヒヤリハット）	
9		敬老祝い（誕生会） お彼岸（墓参り）	祝膳・おはぎ	事故防止研修	
10	利用者レントゲン（立位） 利用者健康診断	秋の運動会 秋の一泊旅行 十五夜	栗御飯 月見だんご	伝達研修会	保健衛生 ・体重測定
11		釣り堀 十三夜	きのご御飯	事故防止研修	
12	来期事業計画作成	クリスマス会（誕生会）	祝膳・ケー千 年越しそば・ 南瓜料理	施設内研修 伝達研修会	
1		新年会 書き初め大会・初釜	おせち料理 七草粥	事例検討（ヒヤリハット） 事故防止研修	
2	防災総合訓練	富岡製糸見学 節分（豆まき）	赤飯	伝達研修会	
3		誕生会 お彼岸（墓参り）	祝膳・桜餅 雑煮・ぼた餅	事故防止研修	



行わないよう取り組む。

恵

風

園

事業目標

老人福祉法及び介護保険の基本理念及び経営目標に基づき、利用者の介護を中心に考え利用者が自分らしい生活を送ることができるよう、個人の個性・尊厳を保ち心身のレベルに応じた自立支援を目標に考えます。

事業内容

一、自立支援に向けた取り組み

利用者が自らの意志に基づいて生きていく事を支援し自立した生活を送る事ができるよう、また、自立した生活を実現するため積極的に支援し利用者一人一人の状態に合わせた適切なケアを考え総合的にアセスメントを行い実現します。

今年度に関しては、リハビリテーションを重点にした取り組みを行いQOLの向上を目指します。

二、身体拘束ゼロの維持と観察の徹底

身体拘束は利用者の身体機能の低下や寝たきりの状態を発生させると共に利用者の人権をも無視する事になりますので、身体拘束廃止に向けては施設が丸となつて取り組む体勢を築き、施設長をはじめ各職員が共通の認識でいられるよう年数回の研修を行います。

三、事故の防止
利用者の転倒・ベットのからの転落・誤えん等の事故を防止するため、居室・食堂・廊下等の環境整備、また、ヒヤリハットを有する事例につき効果的な分析を行い、事故防止に努めるとともに、職員による見守りの強化も行います。

四、環境改善

契約入所後、施設環境になじめずストレスがたまり精神的に不安になるケース

五、職員研修

新任職員・現任職員の研修については、県及び各種機関が実施する研修会へ積極的に参加をし、また、報告会を充実させます。さらに施設内



の研修・勉強会等も開催し対人援助職としてのレベルアップを図ります。

平成20年度 恵風園年間スケジュール

期月	運 営	行事・レク	行事食	研 修	毎 月
4	苦情解決第三者委員会	お花見 (老人センター)	花見だんご	認知症ケア研修 新任研修	会議 ・ 定例会議
5	利用者レントゲン(車椅子)	バラ園見物 フラワーパーク見物	柏餅と健康茶	プライバシー保護研修	保健衛生 ・ 体重測定
6	利用者健康診断	誕生会(4・5・6月生) 買い物ツアー	祝膳	身体拘束廃止研修 事故防止研修	クラブ活動 ・ 散歩 ・ カラオケ ・ リハビリ体操 ・ ぬり絵 ・ 工作
7	処遇向上委員会	七夕見物	うなぎ	防災研修 感染症研修	ジョクソウ予防研修 事例検討会(ヒヤリハット)
8	防災総合訓練 職員定期健康診断	納涼祭 新盆供養(墓参り)	おはぎ	ターミナルケア研修	救急法研修
9		誕生会(7・8・9月生) お彼岸(墓参り)	祝膳・おはぎ	事故防止研修	身体拘束廃止研修
10	利用者健康診断	秋の運動会 前橋祭り見物	栗ご飯 月見だんご 十五夜	事例検討会(ヒヤリハット)	ジョクソウ予防研修
11	利用者レントゲン (ストレッチャー)	買い物ツアー	きのこご飯 十三夜	マニキュア検討会議	
12	来期事業計画作成	誕生会(10・11・12月生)	祝膳・ケーキ 年越しそば・ 南瓜料理		
1		だるま市見物 初盆 新年会	おせち料理 七草粥		
2	処遇向上委員会 職員定期健康診断 防災総合訓練	節分(豆まき)	赤飯		
3		誕生会(1・2・3月生) お彼岸(墓参り)	祝膳・桜餅 雛あられ・ ぼた餅		

事業目標

職員全員が地域に密着し、安心と信頼が得られるような事業運営を目指し、「地域に貢献する総合福祉事業の展開」を図る。サービス提供にあたっては、利用者や家族の求めるニーズ

は何かを常に考え、常に「相

恵風園デイサービスセンター

事業内容

一、個別ケアの充実
基本的には、介護支援専



門員の作成する居宅サービス計画に沿ってセンターで作成する通所介護計画書を作成し援助を行う。家庭や一人では出来ないゲームやレクリエーション、地域の小中学校との交流行事などの集団活動の中に、利用者の要望に合った個別なサービスを展開し内容を充実させる。サービス提供にあたっては、高齢者としての尊厳に配慮し稚拙な活動にならないよう心掛ける。

二、利用者確保

指定介護予防通所介護、指定通所介護合わせて四十名定員とする。地元日吉町、城東町、若宮町の高齢者を中心に、前橋市内居宅支援事業所に営業に出向き、介護支援専門員と顔なじみの関係になり事業のPRに努める。送迎については出来るだけドア・ツウ・ドアで対応し、利用者本人および家族に負担のかからない援助を目指す。特に介護予防の方についても、生活のリズムや生き甲斐の創造を重要視し回数制限にこだわらない。また、利用申請からサービス開始までの間を迅速に対応する。

三、健康管理と保養

看護師による活動開始前のバイタルチェックや利用者または家族からの聞き取りにより受診状況を把握する。看護師だけでなく、個々の職員が利用者の様子を見守り、連携と協力しあって体調異常等の早期発見に努める。入浴は個浴・一般浴・機

械浴から利用者のADLに合わせた方法で行う。利用者、家族からの入浴希望はとも多いが、一人一人ゆつくり入浴してもらうために、入浴回数は利用者や家族の希望に出来るだけそうように心掛けながら調整を行う。また、感染症の対応については、看護師をはじめ職員全員が熟知し、入浴後の消毒や来園時のうがい等日常の活動の中で常に注意し感染予防に努める。

四、チームワークの確立

恵風会の職員としての共通理解のもと、利用者へのより良いサービスが提供出来るよう、常勤・非常勤の区別なく全員で活発かつ前向きな話し合いが出来る場を月一回定期的に開催する。日常的には出勤職員全員でミーティングを行い、業務内容・注意事項などの確認をして共通理解を図る。常に職員相互のコミュニケーション(報告・連絡・相談)に努めながら、活動のあらゆる場面で互いに協力し合い、職員全員でデイサービスセンターを作り上げる意識を高める。

五、職員研修の推進

デイサービスセンターの

職員としての専門性を高め、より良いサービス提供が出来る、地域から安心と信頼が得られる事業運営が出来るよう、積極的に施設内外の研修を行う。内容としてはサービスマナー、認知高齢者の対応方法、高齢者のペーイスでゆつくり安心感のある個別ケアの在り方、虐待防止や高齢者の権利擁護等介護技術だけでなく広く年間計画を立てて実施する。これらの研修は、業務全体の中で重要なものとして位置づけ、テーマによっては

外部講師を要請したり職員が講師になり繰り返し実施する。

六、地域への貢献の実現

恵風会の重点目標にもある地域への貢献の一環として、地元のお年寄りへの一日体験デイサービスを実施する。恵風会の改修工事後の施設PRも兼ねての施設開放とし、送迎・入浴・食事の提供はもちろん、地域ボランティアや各種団体の活動の場としても利用をしていただけるよう援助する。

平成20年度 恵風園デイサービスセンター年間スケジュール

期月	運 営	行事・レク	研 修	毎 月
4		花見(桜)見物 鯉のぼり作成	全職員研修(事業計画の確認) 新任スタッフ研修	レク ・誕生会 ・太極拳教室 ・絵画教室
5	マニュアル見直し	鯉のぼり上げ・見物 花植え・田植え	認知症ケア研修	
6	利用者健康診断	ジャガイモ掘り 七夕作り	食中毒防止・感染症研修	会議等 ・定例会議 ・ケース会議 ・看護会議 ・リーダー会議
7	通所介護計画書更新	七夕見物 歴史散歩・史跡めぐり	倫理及び法令遵守研修	
8	職員定期健康診断 防災総合避難訓練	デイ納涼祭 納涼ドライブ	事例検討(ヒヤリハット)	
9		敬老の祝い 行政見学・県庁訪問	プライバシー保護に関する研修	
10	地域貢献一日体験デイ実施	デイ運動会 コスモス見物ドライブ	防災研修	随時 ・外部研修参加 ・担当者会議 ・個別勉強会
11	ご利用者及び家族意見交換会	紅葉ドライブ おやつ作り	身体拘束 新任スタッフ・フォローアップ研修	
12	業務改善検討	クリスマス会・デイ忘年会 干支作り・餅つき大会	インフルエンザ対応研修	隔月 ・給食会議
1	来期事業計画作成	初詣ドライブ 七草粥	事例検討会(ヒヤリハット)	
2	通所介護計画書更新 防災総合避難訓練	節分・まめまき おやつ作り	事故防止(転倒)	
3		ひな祭り 梅林見物	事故防止(誤燕)	

居宅介護支援事業所 恵風園

事業目標

住み慣れた地域の中で、社会との関わりを持ちながら出来るだけ長く家族や地域の方々と共に、その人らしい自立した在宅生活が送れるよう、公正・中立な立場で専門的な支援を行います。

事業内容

- ・要介護認定の利用者に対して、利用者・家族のニーズに応じて、介護サービス計画を作成し月一回の自宅訪問によりモニタリング・アセスメントを行う。
- ・利用者の心身の状況・家族の介護状況の変化に基づき、各事業所関係諸機関との連携を図り、サービス担当者会議等を実施し、必要な居宅介護サービス計画を作成する。
- ・要支援・要介護認定調査の業務委託を受け、訪問

調査を行う。

- ・要支援一・二の利用者に対して、地域包括支援センター等、関係機関との連携を図りながら、利用者・家族と協働で介護予防プランの作成を行う。
- ・要支援・要介護認定の申請代行を行う。

今年度重点課題

- ・職員の資質向上を目指し、施設内外の各種研修会や勉強会に積極的に参加し、情報収集や知識の向上に努める。
- ・施設内各セクションとの連携を強化し、情報共有会議を定期的に開催し利用者が安心・安全なサービスの利用が受けられるよう配慮する。
- ・多様な相談・要望・苦情を受け入れ迅速な対応を行う。

在宅介護支援センター 恵風園

事業目標

在宅で生活支援が必要な高齢者とその家族が、安心して生活が送れるよう援助する。

・関係行政諸機関・団体等とのサービス提供機関との連絡調整を図り、ニーズに対応した各種サービスの円滑な提供に努める。

事業内容

- ・担当地域（日吉・城東・若宮・朝日・三河町）の高齢者の実態把握を行い、相談協力員との積極的な情報交換を実施し、サービスの広報・啓発に努める。
- ・保健福祉サービスの申請代行及び処遇困難事例の検討を含め、地域ケア会議に積極的に参加する。

今期の重点目標

・地域で生活する高齢者が一日でも長く自立した在宅生活が送れるよう、市の介護高齢福祉課・地域の介護支援センターを始めとする関係諸機関との連携を密にしなが、その方にあつた在宅支援を行う。

・地域のニーズをつかみ介護予防教室開催の企画・五回以上実施。（企画・回覧・報告等）うち一回は、介護者の集いを開催。

恵風園ホームヘルパーステーション

事業目標

ホームヘルパーの基本理念である「自立支援」、「尊厳の保持」をモットーとし、在宅で生活する高齢者や身体に障害がある方が、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るよう、入浴、排泄、食事等の介護及びその他生活全般

にわたる援助をする。

事業内容

- 一、要介護認定者に対する援助
- 二、要支援認定者に対する援助
- 三、障害福祉サービス利用者に対する援助
- 四、生活支援型サービス利用者に対する援助

今期の重点目標

- ・各サービス担当者会議やケアカンファレンスに参加し、時に現場からの意見発信を積極的に行う。
- ・また、適切な訪問介護計画の作成及び諸記録の整備を行う。
- ・施設内外の各種研修会や勉強会に積極的に参加し、訪問介護員としてのスキルアップを図る。

平成19年度決算報告

資金収支計算書

自 平成19年4月1日～至 平成20年3月31日

(単位：円)

勘定科目		決算
経常活動による収支	収入	
	介護保険収入	352,412,506
	利用料収入	111,750
	措置費収入	141,595,390
	事業収入	10,276,846
	寄附金収入	170,000
	雑収入	1,618,763
	借入金利息補助金収入	1,690,000
	受取利息配当金収入	201
	経理区分間繰入金収入	28,420,230
	経常収入計(1)	536,295,686
	支出	
	人件費支出	337,713,438
	事務費支出	37,476,509
	事業費支出	91,224,005
	借入金利息支出	2,554,122
	経理区分間繰入金支出	28,420,230
	経常支出計(2)	497,388,304
	経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	38,907,382
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等補助金収入	31,241,000
	施設整備等寄付金収入	148,000
	施設整備等収入計(4)	31,389,000
	支出	
	固定資産取得支出	67,714,950
	施設整備等支出計(5)	67,714,950
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-36,325,950
財務活動による収支	収入	
	その他の収入	202,424
	財務収入計(7)	202,424
	支出	
	借入金元金償還金支出	2,080,000
	その他の支出	502,352
	財務支出計(8)	2,582,352
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-2,379,928
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		201,504
前期末支払資金残高(11)		189,717,801
当期末支払資金残高(10)+(11)		189,919,305

事業活動収支計算書

自 平成19年4月1日～至 平成20年3月31日

(単位：円)

勘定科目		決算
事業活動収入	収入	
	介護保険収入	352,412,506
	利用料収入	111,750
	措置費収入	141,595,390
	事業収入	10,276,846
	寄附金収入	170,000
	雑収入	1,618,763
	引当金戻入	244,920
	国庫補助金等特別積立金取崩額	14,762,219
	事業活動収入計(1)	521,192,394
事業活動支出の部	支出	
	人件費支出	337,713,438
	事務費支出	37,270,781
	事業費支出	91,224,005
事業活動外収支の部	支出	
	減価償却費	45,627,236
	引当金繰入	708,080
	事業活動支出計(2)	512,543,540
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)		8,648,854
事業活動外収支の部	収入	
	借入金利息補助金収入	1,690,000
	受取利息配当金収入	201
	経理区分間繰入金収入	28,420,230
	事業活動外収入計(4)	30,110,431
	支出	
特別収支の部	借入金利息支出	2,554,122
	経理区分間繰入金支出	28,420,230
	事業活動外支出計(5)	30,974,352
	事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	-863,921
	経常収支差額(7)=(3)+(6)	7,784,933
	収入	
繰越活動収支差額の部	施設整備等補助金収入	31,241,000
	施設整備等寄付金収入	148,000
	その他の特別収入	8,539
	特別収入計(8)	31,397,539
	支出	
	固定資産売却損・処分損	948,272
繰越活動収支差額の部	国庫補助金等特別積立金積立額	31,241,000
	その他の特別損失	51,035
	特別支出計(9)	32,240,307
	特別収支差額(10)=(8)-(9)	-842,768
	当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	6,942,165
	前期繰越活動収支差額(12)	465,866,073
繰越活動収支差額の部	当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	472,808,238
	基本金取崩額(14)	0
	基本金組入額(15)	0
	その他の積立金取崩額(16)	0
	その他の積立金積立額(17)	0
	次期繰越活動収支差額(16)=(13)+(14)-(15)	472,808,238

貸借対照表

平成20年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
当年度末		当年度末	
流動資産	261,708,677	流動負債	71,789,372
現金預金	162,120,026	未払金	68,999,058
未収金	99,099,219	預り金	2,790,314
前払金	489,432		
固定資産	841,365,042	固定負債	141,310,485
基本財産	813,573,237	設備資金借入金	135,540,000
建物	684,955,652	退職給与引当金	5,770,485
建物附属設備	65,185,505	負債の部合計	213,099,857
土地	63,332,080		
基本財産特定預金	100,000	純資産の部	
その他の固定資産	27,791,805	基本金	127,652,880
構築物	685,778	国庫補助金等特別積立金	289,512,744
車両運搬具	4,600,061	次期繰越活動収支差額	472,808,238
器具及び備品	16,592,111	次期繰越活動収支差額	472,808,238
権	20,000	(うち当期活動収支差額)	6,942,165
退職共済預け金	3,914,244		
退職共済預け金(措置)	1,856,241	純資産の部合計	889,973,862
その他の固定資産	123,370	負債及び純資産の部合計	1,103,073,719
資産の部合計	1,103,073,719		

恵風会苦情解決 第三者委員会

日 時：平成20年6月11日（水）午後2時～3時

場 所：恵風会会議室

出席者：第三者委員 山田浩史委員 荻野恒男委員

恵 風 会 田邊理事長 千吉良施設長 黒沢生活課長

1 苦情の数及び内容

(単位：件)

	苦 情 の 内 容	利用者本人	家 族	そ の 他	小 計
前 老	1) 職 員 の 接 遇	0	0	0	0
	2) サ ー ビ ス の 質 や 量	0	0	0	0
	3) 利 用 料	0	0	0	0
	4) 説 明 ・ 情 報 提 供	0	1	1	2
	5) 被 害 ・ 損 害	0	0	0	0
	6) 権 利 侵 害	0	0	0	0
	7) そ の 他	0	0	0	0
	計	0	1	1	2
恵 風 園	1) 職 員 の 接 遇	0	0	0	0
	2) サ ー ビ ス の 質 や 量	1	0	0	1
	3) 利 用 料	0	0	0	0
	4) 説 明 ・ 情 報 提 供	0	0	0	0
	5) 被 害 ・ 損 害	0	0	0	0
	6) 権 利 侵 害	0	0	0	0
	7) そ の 他	0	0	0	0
	計	1	0	0	1
デ イ	1) 職 員 の 接 遇	0	0	0	0
	2) サ ー ビ ス の 質 や 量	0	0	0	0
	3) 利 用 料	0	0	0	0
	4) 説 明 ・ 情 報 提 供	0	0	0	0
	5) 被 害 ・ 損 害	0	0	0	0
	6) 権 利 侵 害	0	0	0	0
	7) そ の 他	0	0	1	1
	計	0	0	1	1
支 援	1) 職 員 の 接 遇	0	0	0	0
	2) サ ー ビ ス の 質 や 量	0	0	0	0
	3) 利 用 料	0	1	0	1
	4) 説 明 ・ 情 報 提 供	0	0	0	0
	5) 被 害 ・ 損 害	0	0	0	0
	6) 権 利 侵 害	0	0	0	0
	7) そ の 他	0	0	1	1
	計	0	1	1	2
ヘル プ	1) 職 員 の 接 遇	0	0	0	0
	2) サ ー ビ ス の 質 や 量	0	0	0	0
	3) 利 用 料	0	0	0	0
	4) 説 明 ・ 情 報 提 供	0	0	0	0
	5) 被 害 ・ 損 害	0	0	0	0
	6) 権 利 侵 害	0	0	0	0
	7) そ の 他	0	0	0	0
	計	0	0	0	0
	合 計	1	2	3	6

2 顛 末

法人全体 (単位：件)

1) 円満に解決 (説明・協議により申立者が納得、現状は変わらず)	1
2) 円満に解決 (施設側が何らの改善をして、申立者が納得)	5
3) 県社協 (運営適正化委員会) の斡旋により和解	0
4) 訴訟に発展	0
5) 未解決につき調整中	0
6) その他	0
合 計	6

平成19年度

社 会 福 祉 法 人
恵 風 会

苦情報告書

計 報

去る平成二十年四月十一日に長年当法人の理事・評議員を歴任していただきました堺堀四郎様(堺堀医院院長)がご逝去されました。ここに謹んでお悔やみ申し上げます。

新任評議員

故・堺堀氏の後任の評議員には、横地圭一様(前橋市平和町 横地眼科医院院長)に委嘱いたしました。(任期：平成二十年六月一日～平成二十一年五月三十一日)

恵風会だより 第6号

発行日 平成20年8月1日
社会福祉法人 恵風会
発行人 田 辺 誠
〒371-0017
前橋市日吉町2丁目20番地14
電話 027(231)3430